藤波こども園

園だより　№７９　令和４年３月１日

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ www.fujinami-ci.sakura.ne.jp/　（藤波こども園で検索可）

旧 藤波幼稚園

現 藤波こども園
（tel 0740-32-0329）

夕刻の職員室　エネルギーは笑顔

夕刻子どもたちが帰った後の職員室、先生たちの自分の仕事が始まる。黙々と机に向かいペンを走らせる人、天井を仰いで考え事をしている人、記録用紙をじっと見つめて動かない人、隣近所の先生と話し込む人、真剣な表情で先輩先生に教えを請うている人、黙々とパソコンに向かう人、笑顔で今日あった出来事を報告している人。どの人もこの人もみんな子どもたちのことで頭がいっぱいになっている。そんな先生たちから話を引き出す。実は此が楽しい。困ったり悩んだり不安になったりしている先生たちには申し訳ないが、先生たちの話を聞いていると子どもの姿が実にリアルに浮かんでくる。時にはその背景となる周囲の子や家庭の様子も絡んでくる。私が楽しみなことの一番は、先生たちの表情だ。実に真剣でそれでいて目が輝いている。顔は曇っていることがあるが、目は澄んでいる。聞いている私は真剣そうな表情にしているが、心は微笑んでいる。話を聞き終える頃には先生たちは半分笑顔だ。澄んだ輝く目をした先生たちの笑顔が見られればそれが何よりの収穫だ。一所懸命、でもはまり込まず余裕を持って子どもたちに接して欲しいのだ。そんな姿を毎日見ていられるのは幸せだ。

我が園には経験年数の浅い先生が３名いる。若い先生たちは毎日必死だ。先輩の先生から吸収しようと、毎日メモを取り質問をし、自分が納得するまで何回も目と耳で確かめようとする。反対にそうした先生から話しかけられる先生もまた大変だ。自分の仕事以外に若い先生が直面する課題に共感しながら一緒に考えなければならないからだ。でも誰もそれを嫌がらない。若い先生の思いを大切にしながら聞き役・相談役にまわる。いつもいつもすぐに答えが出てくるわけではない。共に悩みながら自分の経験をもとに解決策を探る。そして、話し終える頃には互いに穏やかな表情になっている。職員室が賑やかだと時間が経つのを忘れてしまう。先生たちのエネルギーはなんと言っても笑顔である。子どもたちの笑顔を想像・期待し、自分たちの互いの労をねぎらい、疲れの中に癒やしを作っていってくれている。

子どもあれこれ　ママとママがいい？

帰りの玄関口３歳の男児が「パパとママがいいー!!」と何度も何度も泣き叫んでいる。どうやらお迎えはパパとママの２人で来てもらえると思っていた様だ。ところが目にしたのはママだけ。パパが一緒に来ていないのがわかった途端に大泣きになった。玄関口のママは少々困惑気味だが、そのうち気を取り直してくれるだろうと我慢強くしっかりと我が子と対峙していた。途中先生が助け船を出し、「パパに電話してみたら、帰ったはるかもしれんし」と言ったり、母が「そやな車から電話しようか」などと誘いをかけたがなかなか手強く「パパとママがいい」と叫び続けていた。だが、そのうち疲れてきて言い間違えたのか、「ママとママがいい」と叫んでしまった。

そこから一気にトーンダウン。本当に言い間違えたのか、そしてそれに気付いて気まずくなって恥ずかしかったのか。それとも自分で落とし所を見つけにいったのか。定かではないが、ママと一緒に素直に帰って行った。

雪中の大捜索

家庭からの電話でかばんの中に連絡帳がないとのこと。大切なものなので、先生たちが園内を探す。なかなか見つからず探す人数がどんどん増えていく。結局１２人の大捜索となった。園舎内をいくら探しても見つからない。その子の降園時の動きを確認すると園庭で遊んで帰ったことがわかった。少なくともブランコの所に行ったことは間違いがなかった。６時３０分を過ぎた園庭は雪明かりだけが頼りである。小雪の降る中、水銀灯や園舎の電灯、さらに懐中電灯を持ち出しての捜索となった。７時前に「私、園に探しに行きます」と母から連絡があり、その母が到着する直前に先生が園庭のほぼ真ん中で雪の中に埋もれた連絡帳一式を足で探り当てた。先生一同が「やったー」と拍手で喜んでいるとこへの母の到着だった。私は『積もった雪の中からは見つけられんやろ』と先生たちの様子を見ていたが、先生たちの表情は真剣だった。見つかった後の喜び方もホントに嬉しいというより楽しいというような印象を受けた。まるで、オリンピックカーリングの女子選手たちのように思えた。寒い中本当に心が温かくなった。

子ども　あれこれ　給食後シリーズ1

□給食がおいしいと調理室へ向かってグーポーズをする年中女児Ａ、殆ど毎日だそうですが、でも心和みます。

□給食を終えた年長女児M、そこで出会った調理員さんに「今日のお魚おいしかったよ」と告げた「ありがとう。どこでも売ってる魚やから、お母さんに買って貰って食べてね」と返すと「おばちゃんその魚どこで釣ってきたん？」。「・・・・・」

□年少男児Ｉ「おばちゃんおいしかったわ」「ありがとう」。でも今日のおやつは手作りではなく、袋入りの【おにぎりせんべい】だった。「う～ん」

□年少男児M、調理員さんに向かって「今日は出汁がおいしかった」「ありがとう」給食のきつねうどんの出汁のことです。４歳にして出汁の味がわかるなんてすごいですね。

□年中男児H、「今日はうどんもカボチャチップもみんなおいしかった」調理員さん「丸亀製麺とどっちがよい？」男児「丸亀もおいしいけど給食のうどんもとてもおいしかったわ」。今日の出汁は昆布と煮干しと鰹の本格的な出汁でした。違いのわかる４歳と５歳でした。

ありがとうございます。

【いただきました】

①巾着袋（卒園児に）　**中野：清水さんより**
②タマネギの肥料　**青柳：保護者より**
③啓発品（卒園児に）　**高島交通安全協会より**